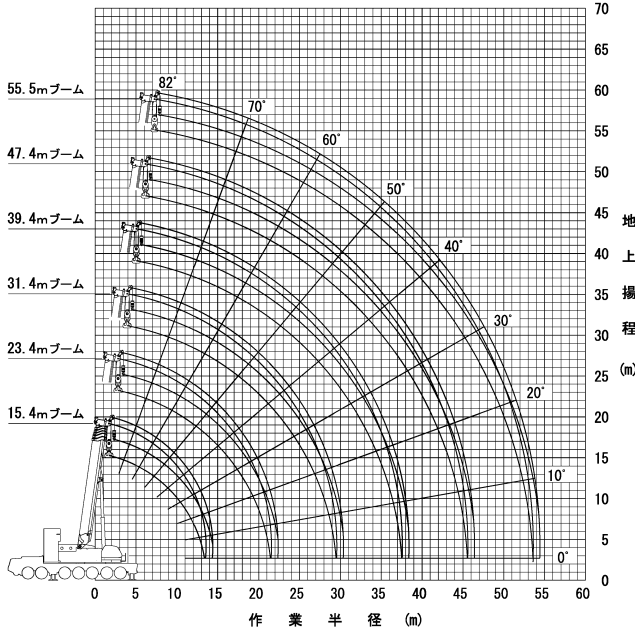


ESPブーム

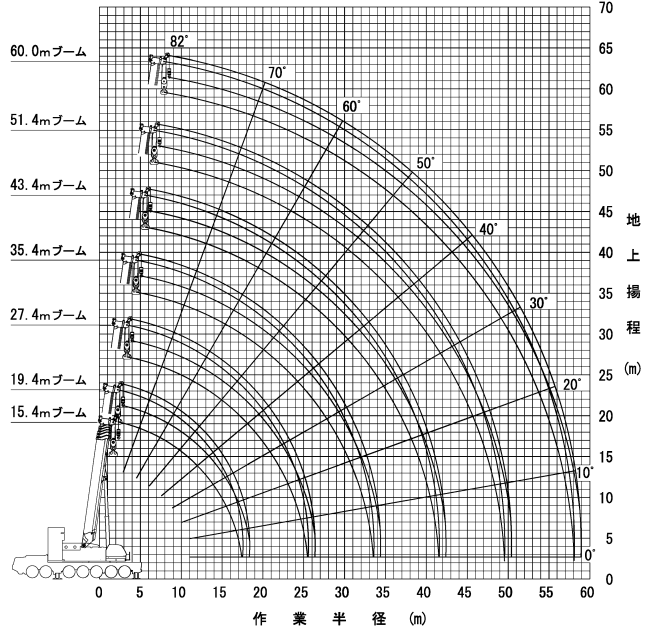
■ 作業範囲図

ESPブーム 55.5m



(注) 1. 上図はブームおよびジブのたわみを含んでいません。  
2. SA~SD性能の最大作業半径を图示しています。

ESPブーム 60.0m



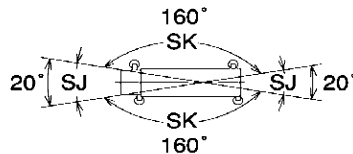
(注) 1. 上図はブームおよびジブのたわみを含んでいません。  
2. SA~SD性能の最大作業半径を图示しています。

■ 定格総荷重表

1. 定格総荷重は、アウトリガを水平堅土上に設置したときの値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。
2. 定格総荷重の性能区分 A, B, SA~SMは、下表のとおりです。

アウトリガ張出幅	カウンタウエイト	195 t	164 t	127 t	94 t	57 t	26 t	0 t
9.0 m		A,SA	B,SB	SC	SD	SE	SL	SG
8.0 m				SD	SE	SF	SM	SH
7.0 m					SE	SF	SM	SH
5.8 m						SG		SI
2.6 m								SJ,SK

- ・ A, B 性能のときは、AJ (アシストジャッキ) と CJ (センタージャッキ) を必ず使用してください (最大性能300t)。
- ・ SA, SB 性能のときは、AJ (アシストジャッキ) を必ず使用してください (最大性能170t)。AJ (アシストジャッキ) 不使用の場合は、SC 性能になります。
- ・ 同じ性能区分・ブーム長さでも、ブームの伸長状態によって定格総荷重が異なります。
- ・ SJ, SK 性能は、23.42m ブームまでで、作業領域は図のようになります。



3. 定格総荷重は、つり具質量とフック質量 (300tアタッチメント付フック: 3,700kg、300tフック: 3,400kg、150tフック: 2,400kg、12.5tフック: 500kg) を含んだ値を示します。
4. 定格総荷重は、ブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
5. 各ブーム長さにおける標準フックとワイヤロープ標準巻掛本数は、ブームの各定格総荷重表中に示しています。ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当たりの荷重は、主巻・補巻ともに123kN [12.5tf] 以下です。
- ・ シングルトップ使用時の巻掛本数は1(12.5tフック使用)です。
6. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取り付けられているフックの質量を差し引いた値とし、かつ限度は12.5tです。
7. 定格総荷重表は、風による影響を含んでいません。瞬間最大風速が、10m/s以上の風速では、クレーン作業を中止してください。
8. 定格総荷重表中のθは、無負荷時のブーム起伏角度範囲です。